

夏を制す東高生

実習生 元担任 クロストーク!



萩 直樹さん × 青木 慶先生

今から自己管理をしよう

青木 三年生受験期の夏休み
のことは記憶にある?
萩 思ったほど勉強できなかったなという感想があります。
青木 なぜ、そう思うの?
萩 計画を立てたのですが、うまく行かなかったからです。

青木 計画自体は良く立てられていたと思うけど、何か足りないものがあつた?
萩 僕の場合は、その計画を実行する上での自己管理能力が未熟だったのだと思います。

青木 受験期でも普段の自己管理能力が問われるよね。
萩 はい、そうですね。休日、特に長期休業中の生活習慣は一二年生のうちから身につけておかないとダメだと痛感しました。また、計画を立てるときにはやはり目標を決めておくことが大事だと思えます。

「この大学に受かりたい」という気持ちですが、甘えをなくしてくれるはずですよ。周りの雰囲気気に流されず、自分の目標に向かうべきです。
青木 夏休み前に準備しておくべきことはあるかな?
萩 大切なのは、中途半端に勉強せず、やりきることだと思います。問題集一冊でもなんでも良いので、夏休み中にこれをやりきると決めておいた方がいいですね。



楠 高校時代の夏はどう過ごしていましたか?
篠塚 勉強ももちろんですけど、家族との時間を大切にしていましたね。
楠 日頃支えてくれていた家族への感謝の気持ちは大切だよな。

篠塚 はい。ですが、私は早起きが苦手で、自宅で勉強しているとき夜型になってしまっているので、学校に来て自習室で勉強していました。また、学校で先生と話をすると気が引き締まりました。

楠 環境を変えたりすることも重要ですね。オープンキャンパス(以下、OC)には行きましたか?
篠塚 はい、北里大学に行きました。人体の臓器の模型が展示されていて、とても印象に残っていますね。
楠 一年生の時に文理選択で悩んでいたよね。



篠塚 私はOCを機に理系の学部のある大学をあまり見ていなかったのですが、文系学部のある大学にも行っておけば良かったですね。やみくもに行くのではなく、行く前にきちんとその大学にどんな学部があるか調べておくことも重要ですね。

進路を決めるオープンキャンパス



篠塚 舞さん × 楠 恵輔先生

森實 やはり基礎、基本だと思えます。その中でも英単語や漢字など、コツコツ時間をかけて覚えていくものは早いうちからやっておくべきでした。
左高 一年生には一年生の勉強、三年生には三年生の勉強がある。特に一、二年生の夏こそやるべきことをやり、悔いのないようにするべきだよな。



森實 円さん × 左高 信一先生

今やっておくべき勉強を

左高 夏休み中は生徒会の活動でほぼ毎日学校に来ていたよね。

森實 そうですね。きりぐるま祭が九月にあるので、忙しかったと思います。

左高 勉強との両立はどうやってしていたの?
森實 生徒会の活動も必ず終わらせる時間を決めて、午前中は生徒会の仕事、午後は自習室で勉強をしていました。

左高 今振り返ってみて、自分に足りなかった勉強はあるかな?
森實 やはり基礎、基本だと思えます。その中でも英単語や漢字など、コツコツ時間をかけて覚えていくものは早いうちからやっておくべきでした。



森實 私には初めから文系の学問、特に法や経済が好きで、文理選択にはあまり迷いませんでした。自分がどんな分野に興味があるか、誰にもわかりません。一年生は是非この夏にOCに行き、様々な学問に触れるといいと思います。

曾根 高校生の時を振り返ってみて、どんな感想がある?
高田 野球部に所属していたので、毎日練習で大変でした。曾根 部活動引退後の夏休みはどう過ごした?
高田 学校で実施していた補習に参加し、夏休みの計画を立てて実行しました。



曾根 その時の反省はある?
高田 まず、時間があれば勉強するだろうという考え方が甘いことに気づかされました。時間があっても、勉強する習慣を身につけていなければ勉強できません。また、補習を受けるにしても、ただ受けることで満足してしまっている意味がありません。大事なことは、自分で勉強をしていくという姿勢だと思えます。

曾根 周りに流されて何となくでは、成果は上がらない。クラスには部活動で忙しい生徒が多かったけど、そういう中でも自分をもつことが重要。高田 何でもいので目標をつくるのが大切だと思えます。私は野球部の学生コーチとして卒業後も東高生を見ていますが、消極的な生徒が多いです。もっと積極的に取り組めば、より高い成果が得られるはず。この恵まれた環境を生かして頑張ってくださいね。

流されない自分をもつ



高田 敬太郎さん × 曾根 淳史先生

本庄高葉幼稚園だより
園長 荒木 君代
一学期ほど、園児一人ひとりの成長を感じる時期はありませぬ。特に新入園児は初めて体験することばかりです。幼稚園は、家庭から外に出て「集団生活」を学ぶところです。本園のふたば組の園児たちは、あおば組のお兄さんお姉さんから、一対一で身支度ののしかたやルール、マナーなどを教わっており、その中で人との関わり方も学んでいます。今ではお互いすつかり慣れたようで、みんなで仲良く交流できるようになりました。それと同時に、園児たちは手洗い、うがい、用便、給食、そして学習においても自ら行動することを大切に、「やればできる」という自信をつけながら、自立心と生きる力を養っています。

キャリア教育講演会

六月五日(金)に行われたキャリア教育講演会は、生徒にとって有意義な時間となった。

講演会を聴いて一番印象に残ったのは、「成功することと失敗することは同義」「成功の反対はチャレンジしないこと」という話です。成功と失敗が同じだということは今までよくわかっていませんでしたが、「成功した人の中に失敗しなかった人はいない」という今回の話を聴いて納得がきました。また、成功の反対はチャレンジしないことだという話を聴いて、失敗を恐れず何事にもチャレンジしていくことの大切さを、あらためて学ぶことができました。これからは、社会に通用するコミュニケーション力を身につけ、相手とのやりとりを楽しみながら仕事をこなしていくようになるために、人の関わりを大切にしていきたいと思えます。そして、自分の目指す大学や職業に向けて、苦手を教料をつくらないよう勉強に励み、進路を広げていきたいです。



講演のようす

講師紹介
かわい まりこ さん
河合 茉莉子 さん
リクルートマーケティングパートナーズ

一学期の行事には「親子遠足」のほか、「玉入れ大会」があります。写真はプログラム一番の「できるかな体操」です。十二種類の動物になりきって行うユニークな体操で、保護者も楽しく見学しています。

さて、もうすぐ長い夏休みがやってきます。これからの暑い季節、元気に二学期を迎えましょう。

